

2025年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧 (1月14日)

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。→→ [URL](#)

民間奨学金申請要領

返還支援事業



○募集要項の請求先について

「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。
各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。→→ [URL](#)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	国内の大学院で食品科学等の分野の修士または博士学位取得を目指して学ぶ方(日本国籍を有する方)	記載なし	2026年4月に大学院へ入学予定の者	月額:23万円 (給付期間:標準修学期間) (年額276万円)	給付	30人程度 (修士、博士計)	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	4月1日~5月20日 (応募書類必着)
直接応募型	社会福祉法人 さぼうと21 2026年度 「生活支援プログラム」	①日本に定住する外国にルーツを持つ学生で、2026年4月に日本の大学に通学中または入学予定であり、以下のa又はbに該当する方 a) 難民とその子など、本人/親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ・既に日本国籍になった方も応募可 ・在留資格が「留学」の方は対象外 ②学費の負担が困難な方 ③研修行事などに参加できる方(交通費支給)	可 (「坪井一郎・仁子 学生支援プログラム」と同時に受給することは不可)	2026年4月に大学に通学中または入学予定の者	月額:3万円 (給付期間:1年間) (年額36万円)	給付	約20名	生活支援プログラム	生活支援プログラム	1月5日~1月30日 (応募書類必着)
推薦枠型	令和8年度 公益財団法人森下仁丹奨学金	以下のいずれの各項のも該当する者 志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な日本国内の大学生又は大学院生(ただし留学生は除く) 家計基準・日本学生支援機構第一種奨学金に準ずる。 大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。 1.家計基準 ・日本学生支援機構第一種に準ずる。 大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。 2.人物基準 ・就学の意志が強く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、且つ修業後、社会に有用な人材と為り得る者。 ・年齢の制限はなし 3.健康基準 ・大学の保健センター、または医師が発行した健康診断書により、就学に支障がないと認められる者。 4.学力基準 前年までに標準習得単位を修得済であり、且つ前年度までの通算GPA値が2.8以上	日本学生支援機構等返還を要する貸与型奨学金を除き、他の給付型奨学金との併用不可。 但し、授業料の減免または免除については併用可	学部生・大学院生	月額:4万円 (給付期間:2026年6月~最短修業年限)	給付	三重大学の推薦枠 1名	学生支援チーム	学生支援チーム	3月6日(金) (16時) (提出期限延長)
直接応募型	2025年度 公益財団法人 日本未来財団	①日本国籍を有すること ②国内の大学・大学院に学ぶ者であること ③学部3年生又は修士1年生であること (2026年3月31日時点。学部、学科に制限なし) ④募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること ⑤経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑥就学状況及び生活状況について適時報告できること *②については春季入学者に限る	可	2026年3月31日時点で 学部3年生又は修士1年生	年間30万円 (3月末日に年額一括給付) 給付期間:1年間	給付	10名	公益財団法人 日本未来財団	公益財団法人日本未来財団 事務局 奨学金事業係	1月31日 (応募書類必着)
直接応募型	Sasakawa 看護フェロー海外留学奨学金	(1)日本の看護師免許を取得している。 (2)TOEFL IBT80 又はIELTS 6.0 以上	記載なし	大学院生	最大10万米ドル/年 + 生活費1000ドル/月	給付	記載なし	Sasakawa看護フェロー海外留学奨学金	Sasakawa看護フェロー海外留学奨学金	2月1日(日)
直接応募型	公益財団法人 日本通運育英会 2026年度奨学生	以下のA~Dの各項いずれにも該当する者 A 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害(*1)を負った方。 あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(*2) (*1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。 1. 障害手帳1~4級 2. 精神障害者手帳1~3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の1~7級 (*2)学生本人の場合は、上記(*1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象となる。 B 2026年4月現在、18歳以上21歳以下の者 C A項を原因として、経済的に就学が困難であると認められる方。 D 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	可	学部生 (2026年4月1日現在)	月額 3万円 (年額:36万円) 給付期間:最短修業年限	給付	全国で20名	日本通運育英会奨学資金	日本通運育英会 (4/17(金)16:00までに、推薦以外の提出書類一式を作成のうえ、学生支援チーム①番窓口持参し、推薦書作成を依頼すること)	4月1日(水)~ 5月15日(金) (事務局必着)
直接応募型	2026年度 公益財団法人 蔵人記念財団	次の各号のすべてに該当する者 (1)応募時点において日本国籍を有している者 (2)経済的に恵まれず、修学が困難な者 (3)親権者(又は未成年後見人)等による保証人の同意を得ている者 (4)本人及び生計を一にする家族が暴力団、暴力団関連企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者又はその構成員ではない者 (5)日本国内にある大学で農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者 *世帯年収が、目安として400万円以下(税込み)であること (兄弟姉妹多数など他の経済的理由で修学が難しい方も対象となる場合もあり)	記載なし	2026年1月1日時点 で学部1年生	月額:4万円 (給付期間:1年間) 【2026年4月~】 但し、財団の審査を経て、原則として最短修業年限まで延長の可能性あり	給付	12名	公益財団法人蔵人記念財団	公益財団法人 蔵人記念財団	1月31日 (当日消印有効)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	社会福祉法人 さぼうと21 2026年度 坪井一郎・仁子学生プログラム(坪井基金) 「学生支援プログラム」	①日本に定住する外国にルーツを持つ学生で、以下のaまたはbに該当する方 a) 難民とその子など、本人/親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ・既に日本国籍になった方も含む ・在留資格が「留学」の方は対象外 * 主に理系の方を優先(専攻分野の指定なし) * 大学院については、修士課程優先	可	2026年4月に大学3年生以上または、大学院在籍/進学見込みの方	大学院生:60~120万円/年 大学生:50~100万円/年	給付	15名程度	学生支援プログラム(坪井基金)	学生支援プログラム(坪井基金)	1月6日~1月31日(応募書類必着)
直接応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で 学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	マイベスト奨学金	マイベスト奨学金	【第1回】 6月1日~9月30日 【第2回】 10月1日~2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日~5月31日
直接応募型	(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働きず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	大学院生(在学) 月額 5万, 8万, 10万円 月額 4万, 5万, 6万円 (うち2万円給付)	貸与 (無利子)	20名 300名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会	提出期限の10日前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること 2024.10.31 (1次募集)8.31 (2次募集)1.31

は新着情報です。

※掲示期限 : 2026年5月31日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)